

運輸交通部会長報告

会議名 秋田県建設部と運輸交通部会との意見交換会

日時 2021年10月15日（金）16：00～17：30

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 ◆秋田県建設部 佐藤部長、鮫島港湾技監、川辺道路課長、
伊藤港湾空港課長
◆辻副会頭、正副部会長・部会員13名、水澤専務理事

内容 (1) 懇談

テーマ「秋田県内の交通インフラ整備について」

講演者 秋田県建設部 部長 佐藤 秀治 氏

秋田県建設部 港湾技監 鮫島 和範 氏

(2) 意見交換

テーマ「地域活性化に向けた施策展開について」

佐藤部長 懇談内容 概要

- ・ 県内の高速道路は、東北道・秋田道・日沿道・東北中央道で約362km、道路供用率は92%に達している。
- ・ 令和元年9月に国が高速道路の安全・安心基本計画が公表し、その中で全国の有料の高速道路の暫定2車線区間が約1,600kmあり、その内の880kmを優先的に整備する区間として選定した。秋田自動車道においては、「北上JCT～大曲IC」間が優先区間として選定され、これまでに、「北上西IC～横手IC」間（約34.9km）が事業許可となっており、残区間は「横手IC～大曲IC」「北上JCT～北上西IC」の約14kmとなっている。今後もこの残区間の早期4車線化を目指していく。
- ・ 秋田港アクセス道路は、今年度も用地測量を実施し、順次用地買収を進めており、年度内に仮設道路工事を着工する予定。
- ・ 今冬の県南部を中心とした大雪により除排雪が行き届かず、北秋田・山本・秋田管内の地域振興局内に除排雪応援を行い、建設企業9社より人員や機材が派遣された。

- ・ 洋上風力発電については、基地港湾の指定を受けている秋田港・能代港を活用することを前提に、青森県や山形県など隣県でもポテンシャルがある地域が存在していることから、基地港湾として有効活用するために、他県沖の需要も取り込んでいきたいと考えている。
- ・ クルーズは秋田県への寄港が昨年、今年とゼロとなっている現状にあるが、クルーズ船の寄港回復には、コロナの収束がポイントとなる。国内唯一のクルーズ列車を活用しつつ、今後のクルーズ振興に取り組んでいきたい。
- ・ トラック自動運転実証事業について、秋田港を実施場所として応募し、9月に選定された。今年度はVR検証、次年度は実車による実証実験を計画している。実証実験では、自動運転レベル2を活用する予定だが、レベル2は一般公道では確立されていない技術である。全国的にも意義が高いものであるため、実用化に繋がるよう国・県・関係者と連携して取り組んでいきたい。

1. 秋田空港の利便性の向上について

- ・ 年末に秋田空港駐車場の精算機で交通系ICによる精算サービスを開始するため、調整を進めている。

2. 秋田港アクセス道路について

- ・ 予算確保が重要となるため、県としても国への要望を継続するので、商工団体としての要望も継続して頂きたい。
- ・ 道路名称は、供用1年前までに決定するものとなるので、その際に検討していく。
- ・ 秋田港アクセス道路は、計画交通量によれば、車道幅員6.5m、全幅9.5mが標準値であるが、大型車の混入が多く見込まれることから7.0m、10mと広く設定している。
- ・ 重要物流道路の指定は、これまでは開通・供用中区間を対象とした指定であったが、今後整備・計画中の路線についても、指定することを国から示されているため、県ではアクセス道路を重要物流道路として指定するよう要望している。

3. 秋田港コンテナターミナル周辺の安全対策について

- ・ 臨港道路13号線・外港地区入口交差点に関して、交差点形状の変更に係る測量および予備設計を発注し、年度末までに完了するように作業している。予備設計では、ラウンドアバウトも含め複数案を作成し検討して適切な交差点形状を選定することになる。
 - 地域住民等からヒアリングをしつつ、検討をしている事例もあると認識している。複数案で検討していく中で、事例が少ないラウンドアバウトも検討案に入っているとのことだが、利用者側の意見も聞いて検討を深め、利便性・利用性の高い交差点形状として整備頂きたい。
 - 交差点は、港灣法上の臨港道路として位置付けられており、「地域の利用状況を踏まえて設定すること」が要件となっているため、その要件を満たした設計を行うことが必要。特殊車両の運転操作など専門的な意見を踏まえ設計することで、より利用性の高い設計が出来ると考えられるので、設計に利用者の意見を取り入れるよう、主管の産業労働部に伝える。

4. 秋田港コンテナターミナルの機能強化・脱炭素化に向けた取組の推進

- ・新PSカードやCONPASは、国交省が主体となり横浜港や神戸港などの大規模港湾を対象に実証実験を行っている。国が管理しているシステムになるので、国に対しての働きかけも必要となる。
→現行のPSカードに関して、大規模港湾仕様には入っているICチップが地方港仕様には入っていないため、デジタル化で致命的な遅れを取ってしまっている。新PSカードについて、地方港で使用出来ないものにすることは避けて頂きたい。また、CONPASに関して、荷主にどのように利用してもらおうのかという要素が欠けている。全産業の輸出入に関わる企業がメリットを感じて導入する内容にして頂くよう、国に伝えて頂きたい。

- ・ 県建設部と当部会とのコミュニケーションが非常に良く図られており、感謝申し上げます。
- ・ 私が部会長の頃は、コンテナヤードとインターチェンジのアクセス道路は、10年近く経っても1ミリも進まない状況だった。
まさに隔世の感がある。 県建設部に部会としての意見を聞いて頂く機会を設けてきたからこそ進展したと感じる。今後も、お互いの意思疎通を図り、良い関係性を継続していきたい。



【開催模様】